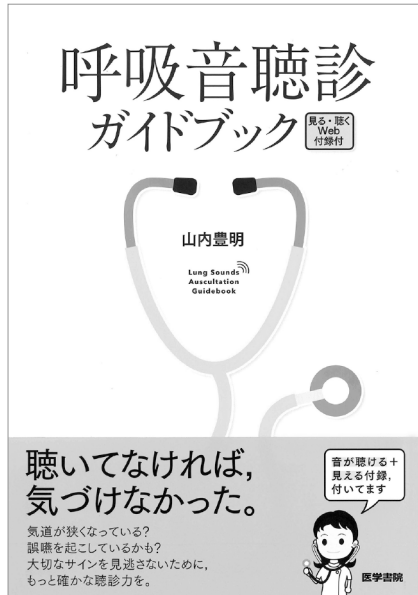




呼吸音聴診ガイドブック

見る・聴くWeb付録付

山内豊明 著

本体2,300円＋税

医学書院 ☎03-3817-5657

衝撃です。知識欲のままに購入し、それだけで満足して本棚の飾りになってしまふ……そんな本ではありません。山内先生の語り口そのままに、なぜが解き明かされていく楽しさで、もう最後までページをめくる手が止まらない！めくるめく山内ワールドへ、さあ飛び込んでみましょう。

山内先生の講義をご自宅でも！

「呼吸音の聴取」と聞いて、どんなイメージをもちますか？ 難しい？ わかりにくい？ いえいえ、山内先生の言葉をお借りすると、「交通信号に戸惑うことなく安心して道路を通ることができると同じように、容易で確実な技能」な

のです。

交通信号に戸惑うことがないのはなぜでしょうか。信号の色をどのように見分けて（振り分け方とその線引き）、どのような名称で使うのか（正しい共通用語を知っているからです）。これは全国どこでも共通です。

同様に、呼吸音の名称も明確な振り分けがあるのです。これをただ覚えるのではなく、こういう理由で分かれていて、それはこういう音ですよと、音のカタログ（見る・聴くWeb付録）までついている親切さ。もう、脱帽です。

聴診の4つのSTEP

山内先生の講義には「目的を見失わない」という言葉が多く出てきますが、本書もSTEP1「聴診の目的を確認する」から始まります。聴診をただの「行為」で終わらせないよう「身体の中で何が起きているのかを突き止めるために、聴診をしているのだ」と目的を明確にするのです。そして適切なケアにつなげるために、どのような知識と判断の過程が必要なのかという流れで、疑問をクリアにしていきます。

STEP2は「呼吸器系の動きを理解し、呼吸音の“カタログ”を整理する」。

呼吸器系の機能と評価方法、肺の構造や聴診部位と方法、聴診器の使い方など、基本のキをおさらい。そして、正常呼吸音と異常呼吸音（副雑音）のカタログを整理します。

STEP3では「副雑音を聴き分け、患者さんの状態を推測する」。それぞれの音はどういう機序で音をたてているのか、イラストを交えて解説しています。なぜがわかるかとケアに結び付きますね。

STEP4は「呼吸音は正常」と言い切るための道筋を理解する」。これで呼吸音聴取は完璧！……なのですが、さらに「復習テスト」も用意されています。学習した気になっただけでは終わらせない、そんな山内先生の愛のむちが見え隠れしている作りこみなのです。

山内先生の講義を受講されたことがない方はもちろん、講義を受けた方にこそ本書を手にとっていただきたい。先生の講義が紙上で再現される衝撃を、味わってください！

命を守るプロフェッショナルとして、必読の1冊であると断言いたします。